



羽合小学校 学校通信

平成26年5月19日 NO, 26

羽合小学校の教育研究は！ その1

運動会まであと1週間、こどもたちの練習にも熱が入ってきましたが、わたしたちの羽合小学校では、教育研究にも熱を入れています。

こどもたちに学力を付けていくため、また、教職員の力量を向上させるためにも教育研究は学校の重要な柱のひとつです。本年度の取り組みを紹介します。

わたしたちの羽合小学校の研究の特色は、「**学級づくりが学習の基盤**」であるという考え方にあります。学級で学習を行うのですから**学級は学習できる集団（まなびの集団）**でなければなりません。では、まなびの集団とはどのようなものでしょう。わたしたちは次のように考えています。

(No, 4 参照)

- 生活の中で**課題を見つける**力があること
- アイデアを出し、それを形にして実践する**力があること
- 相手の話を理解し、意見を加えながらつなげる**力があること
- 話し合いの中で折り合いをつけ、**多様な考えを調整**したり、新たな考えを作り出す力があること

学級での生活や活動を通じて、こどもたち一人ひとりにこのような力を身に付けさせることを学級づくりと言います。クラス会議やソーシャルスキルトレーニングはそのためにあります。このようにして作られる集団を基盤として授業が行われます。では授業と学級づくりにはどんな関係があるのでしょうか。それは、「その2」をお待ちください。

【うれしいこと】

先週、廊下を歩いていると向こうから2人組の児童とすれ違いました。すれ違う時に少しだけ頭をさげて会釈して通り過ぎていきました。ちょっとしたことですが、**会釈できるこどもたちが育っていること**をうれしく感じます。

また、夕方、児童玄関前を歩いていると、通り過ぎようとした乗用車が止まりました。ウィンドウが開いて、助手席の児童から「校長先生さようなら」と声をかけてもらいました。運転しておられた方がどなたなのか確認できませんでしたが、車を止めていただいて、**あいさつをご指導**いただいたこともうれしいことでした。

そのすぐ後、私を後ろから走って追い越していった児童も、一瞬体をこちらに向けて「さようなら」と走り抜けていきました。駐車場で待っておられる保護者の方を待たせないように、走って車に向かいました。急いでいたと思いますが、**にこやかなあいさつができたことや、待たせないように思いやる心が垣間見えてうれしかった**です。

今年のPTA活動の中心のひとつに挙げていただいた「あいさつ」ですが、わたしたちの羽合小学校に少しずつ根付いているようでうれしいです。これからもよろしくお願ひします。

羽合小学校 寺谷英則